

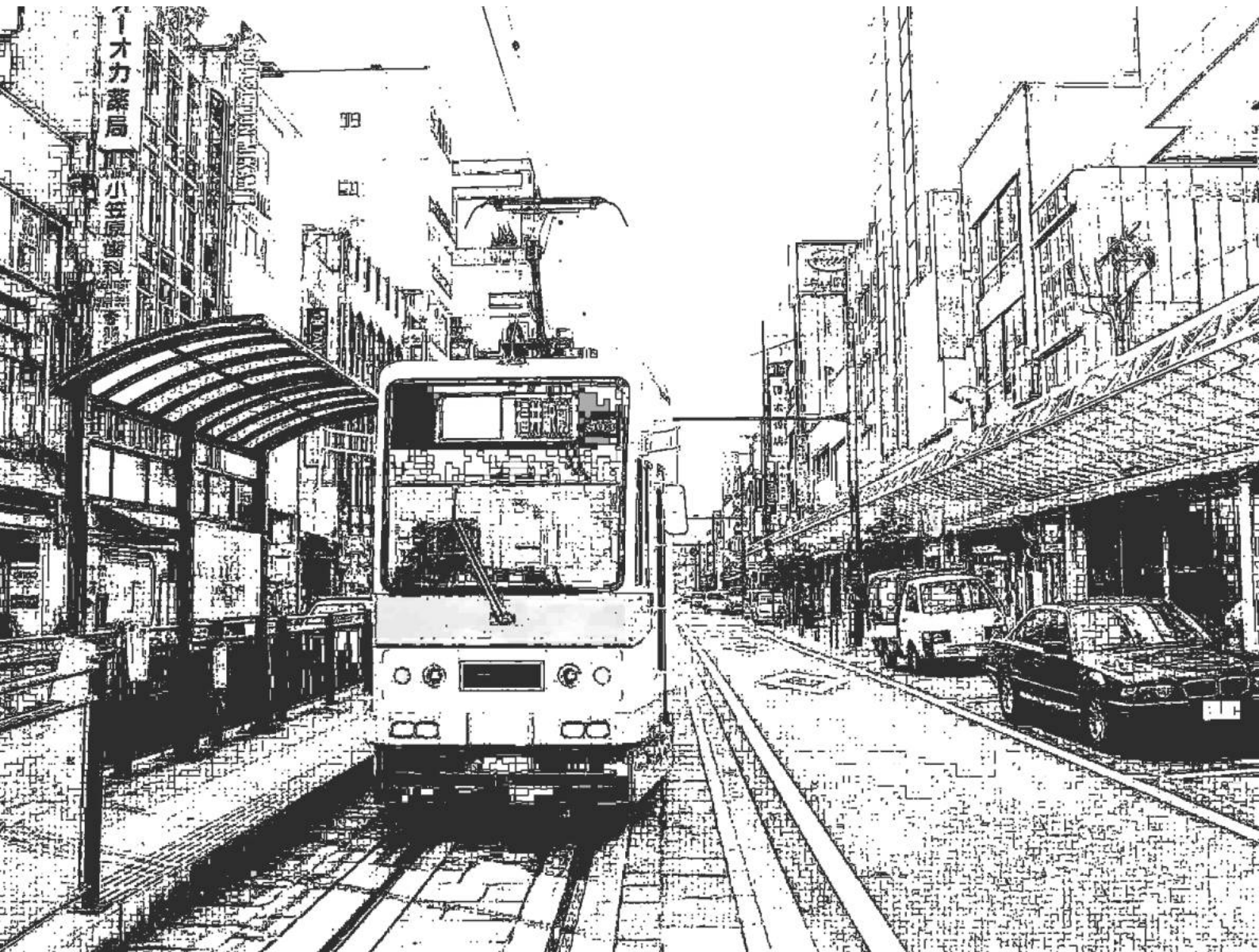


‘05 福井市まちづくりフェア協賛

第4回中部地区路面電車サミット 福井大会

11/20(日)
「響のホール」

路面電車が街をつくる 人が中心の街づくりをめざして



福井駅前電車通りにやってきた 800 系

主催 / 特定非営利活動法人 ふくい路面電車とまちづくりの会 (ROBA)
開催協力 / とよはし市電を愛する会・路面電車と都市の未来を考える会高岡・万葉線を愛する会・
岐阜未来研究団・富山県交通政策研究グループ
後援 / 福井県・福井市・国土交通省中部運輸局・福井運輸支局・福井鉄道(株)・えちぜん鉄道(株)・
まちづくり福井(株)・(財)地域環境研究所



近年、各地の都市で路面電車・LRT の評価が高まる中、中部地区の路面電車がある都市の市民グループが連携し「中部地区路面電車サミット」を豊橋（2002）高岡（2003）岐阜（2004）で開催してきました。駅前電車通りの整備、低床車両への更新等、今後 LRT への進化が期待される福井で「路面電車が街をつくる - 人が中心の街づくりをめざして - 」をテーマに第4回中部地区路面電車サミットを開催します。

なお今大会は福井市まちづくりフェアの協賛プログラムとしても位置づけられ、サミット会議の他に一般市民の方向けの記念講演、シンポジウムを行います。また記念事業として来春から福武線に導入される車両(LRV)のお披露目試乗会に市民の方をご招待します。

今回のサミットにおいて、各地の取り組みの成果や課題を共有することにより、それぞれの地域で活かされる新たな視点やエネルギーが生まれることを祈念します。

ふくい路面電車とまちづくりの会 会長 内田桂嗣

サミット会議スケジュール

10:00	開場	
10:30	開会	
10:35	各地活動報告：「路面電車・最前線」	とよはし市電を愛する会 路面電車と都市の未来を考える会・高岡 万葉線を愛する会 岐阜未来研究団 富山交通政策研究グループ ふくい路面電車とまちづくりの会
11:30	特別報告：「富山ライトレールの開業」	谷口博司氏
11:45	質疑・意見交換	
12:00	休憩（サミット代表者会議）	
13:00	記念講演：「路面電車が街をつくる」	望月真一氏
14:30	休憩	
14:45	シンポジウム：「人が中心の街づくり」	パネリスト 谷口博司氏 大辻太一郎氏 吉田千秋氏 内田桂嗣氏 コメンテーター 望月真一氏 コーディネーター 川上洋司氏
16:00	閉会	



とよはし市電を愛する会

代表者名： 寺本 和子
事務局長： 堀田 能正
所在地： 〒440 - 0871 愛知県豊橋市新吉町 45 日の丸薬局内
設立年月： 平成2年11月
会員数： 250人
TEL； 0532 - 54 - 2365
FAX： 0532 - 53 - 5219
Eメール：
HP： <http://www.hinomaru-yakkyoku.co.jp/shiden/>

目的

市電（豊橋鉄道市内線・愛称）を生かしたまちづくりを「見る市電」「乗る市電」「考えあう市電」のコンセプトで展開、本年16年目を迎える。路面電車の活性化を文化の面からもとらえ広報活動をする。市民・鉄道会社・行政の間に立って発展の役割を目指す。

主たる事業・活動

4月10日をシテン「市電の日」としてイベントを開催。6月10日の「路電の日」とあいまって、コーラス電車、国際交流電車、川柳電車、まちづくり交流電車、路線延伸を目指した「ゆめ路線電車」ファミリー乗車を目指した「孫ころ（真心）電車」など運行、人気を集める。

広報誌「市電文化」年3～4回発行、広く市民に配布。

絵画カレンダー「市電のある風景」を毎年発刊、会の基金づくりとする。本年14冊目。

昭和2年製のモ3702型ボギー車を市民の募金で誕生当時の姿に復元、レトロ電車とする。

路面電車の走る街へ視察旅行、当地の愛好支援団体と交流研修会をもつ。実施9箇所。

「考えあう市電」から第4回路面電車サミット'99 in とよはしを開催。全国より600名が参集。環境、福祉面から協議、行政側に「豊橋市路面電車活性化研究会」結成の成果を得る。

2002年7月、第1回中部地区路面電車サミットを主催（高岡市・福井市・岐阜市・豊橋市）4都市5団体で交流研修会を行なう。

伊奈副会長の執筆による中学国語教科書（教育出版）「古くて新しい路面電車」が北海道をはじめ各都市で採用され、公共交通機関理解への一助になっている。

2003年函館サミット、中部地区サミット、2003年高岡大会、2004年岐阜大会、2005年福井大会に参加。

活動の成果として、中心市街地活性化をめざし、市民・行政・鉄道の三位一体で新電停を設置。



路面電車と都市の未来を考える会・高岡 (RACDA高岡)

代表者名： 島 正範

事務局長：

所在地： 〒933-0021 富山県高岡市下関町6-1 駅前地下街 T・BLUE 店内

設立年月： 平成10年4月

会員数： 60人

TEL： 0766-24-2780

FAX： 0766-24-2780

Eメール： ractama@yahoo.co.jp

HP： <http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Ayame/1282/>

目的

RACDA 岡山の市民活動を手本に設立

市民の立場から人と環境にやさしいまちづくりを考えています。

路面電車をはじめとする公共交通の活用を呼び掛けています。

活力ある住み良い地域社会の形成を目指し、市民自らの行動を心掛けています。

主たる事業・活動

定例会：月2回

会員内広報誌「らくたま通信」発刊：年2～3回

たかおか朝市出店：4月～11月（第2・4日曜日）

市民交流・視察旅行：岡山、豊橋、高知、福井、桑名

各種イベント開催：5月3日「軽快都市宣言」

6月10日路面電車の日記念「グルメツアー」

夏休み「スケッチ電車」

随時「ラクダキャラバン」

「万葉線とRACDA 高岡5年間の軌跡」発刊2004.3



「軽快都市宣言 Part 4 路上でパリのカフェ気分」



「ラクダキャラバン」



万葉線を愛する会

代表者名： 中村 絢一

事務局長：

所在地： 〒934-8555 富山県新湊市本町2 - 10 - 30

設立年月： 平成5年10月

会員数： 3792人・90団体

TEL： 0766 - 82 - 8280

FAX： 0766 - 82 - 8281

Eメール： koutuu@city.shinminato.lg.jp

目的

新湊市と高岡市を結ぶ万葉線を維持・確保するため、万葉線の積極的な利用促進と発展に資する。

主たる事業・活動

1. 万葉線利用客増加対策事業

(1) イベント事業

- ・ レール&バス等による観光コース、体験コースを設定し参加者を募る。
- ・ 他の公共交通活性化団体との連携...JR 城端・氷見線活性化促進協議会等
- ・ 新湊市、高岡市のイベントの連携
- ・ 路電の日記念行事の実施
- ・ 万葉線写真発表会の開催

(2) 各種団体とのタイアップ

- ・ 路面電車と都市の未来を考える会・高岡 (RACDA・高岡) との連携
- ・ 沿線自治会、婦人会、老人倶楽部との連携

2. 会員交流会の実施

(1) 会員交流ビアガーデンの開催 (3日間で約1000人参加)

(2) 会報の発行 (年1回)



万葉線の超低床 LRV「アイトラム」



岐阜未来研究団

代表者名： 堀 達哉
事務局長： 野尻智周、代行：辻貴雅
所在地： 〒500-8833 岐阜市神田町6-22-3 明宝ビル3階
設立年月： 平成8年8月
会員数： 36人
TEL： 058-266-4737
FAX： 020-4665-3065
Eメール： access@po.mirai.ne.jp
HP： <http://www.mirai.ne.jp/~design/>

目的

住民と行政との対話場を多様に形作ることを目的に、生活課題の発見、生活提案づくりとその表現スキルの獲得、および発表&プロポーザルの3つの場面づくりを展開。具体行事としては「まち巡り会」や「みらい楽講(学習ターム)」という仕込み、デザインキャンプという推敲・表現、テーマごとの「デザイン小展覧会」「みらい楽講(発表ターム)」という発表の場、の一連の流れを持つ。

なかでも、公共交通問題(とりわけ都市基幹交通の背骨としての路面電車の未来問題)は、とくに生活に関わる重要なテーマとして重視し、活動の大きな柱としている。

主たる事業・活動

「まち巡り会」

いわゆる、まち歩き形式のワークショップ

「みらい楽講」

社会学習・生涯学習行事だが、回によっては会活動の成果発表の場でもある。

「デザインキャンプ」

提案取りまとめ&パネル作成ワークショップ

「デザイン小展覧会」

作成パネルの展覧会形式の発表ワークショップ

これ以外に、参加型バスマップ作成事業、コミュニティ巡回バス自主実験事業、他団体業務支援事業、コミュニティ内コミュニケーションの場づくり事業、などがイベントとして類型できるが、近年、路面電車存廃問題への取組みの長期化による会活動基盤の衰退が目立ち、「原点立ち返り」のための議論を進めている。



富山県交通政策研究グループ

代表者名： 山崎 正治（座長・富山県知事政策室・（財）北陸経済研究所派遣）
事務局： 楠 宗久（幹事・河川課）
所在地： 富山市新総曲輪1 - 7
設立年月： 平成14年4月
会員数： 6人
TEL： 076 - 433 - 1134（（財）北陸経済研究所内 山崎正治）
FAX： 076 - 433 - 1164（（財）北陸経済研究所内 山崎正治）
Eメール： shouji.y@hokukei.or.jp または kusunoki@p1.tcnet.ne.jp
HP： <http://www1.tcnet.ne.jp/kusunoki/koutuken/>

目的

富山県における公共交通とまちづくりに関する調査研究

主たる事業・活動

「富山県職員自主研究サークル」で、時間外と休日に活動している。（県の組織ではありません。）
例会、現地調査、講演会・フォーラムの開催、報告書の作成、研究雑誌への投稿、市民団体との意見交換、広報PR活動など

（1）報告書の作成

H14.12 「富山型公共交通優先型社会への提案」（A4版 82ページ）

H16.3 「新幹線後の公共交通とまちづくりはこれだ」（A4版 112ページ）

（2）研究雑誌への掲載

H15.4 月刊「運輸と経済」5月号（（財）運輸調査局刊）

「富山型公共交通優先型社会への提案」

H15.10 富山県職員政策情報誌「でるくい」第18号

「北アルプス銀河鉄道出発進行」～並行在来線の経営を支えるためには～

H16.7.8 月刊「地域開発」7・8月号（（財）日本地域開発センター刊）

「新幹線後の公共交通とまちづくりはこれだ」

（3）学術発表

H17.7 交通権学会富山大会シンポジウム

「富山県内並行在来線の経営形態・収支予測及び支援策の提案」

（4）講演会・フォーラムの開催

H15.9 公共交通とまちづくりを考える講演会（富山市）

～東京経済大学経営学部助教授 青木 亮氏～

H17.10 北陸三県公共交通活性化フォーラム（富山市）

～路面電車の走る街はステキ！～（RACDA 高岡などと共催）

（5）現地調査の実施

青森県庁、岩手県庁、鹿児島県庁、佐久市役所、鹿児島市役所、青い森鉄道、IGR いわて銀河鉄道、広島電鉄、岡山電軌、高松琴平電鉄、伊予鉄道、土佐電鉄など



特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会 (ROBA)

代表者名： 内田 桂嗣
事務局長： 清水 省吾
所在地： 〒918-8131 福井県福井市種池1丁目1905-3
設立年月： 平成13年2月(平成17年4月特定非営利活動法人に改組)
会員数： 60人
TEL： 0776-25-7968
FAX： 0766-36-4454
Eメール： roba@mbh.nifty.com
HP： <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>

目的

豊かで夢のある未来にむけて、人々が安心して利用できる路面電車やバスなどの公共交通を活かしたまちづくりのために、自ら考え楽しく行動することにより社会に貢献する。

主たる事業・活動

- 月例会(第4金曜)と月例イベント(週末)の毎月2回
常設の2部会(LRT部会・バスマップ部会)の他、必要に応じて臨時部会ができる。
会員向け会報紙(ROBANEWS・月刊)のほかホームページで外部にも発信している。
- (1) 公共交通を活かしたまちづくり事業
 - 路面電車を体験してもらふイベントの開催(さくら電車・トラムDEビンゴ・試乗会)
 - 電車やバスを使う街歩きマップの発行
 - バスマップを使った教育プログラムづくり
 - 内閣府・都市再生モデル調査の実施
 - (2) 公共交通活性化事業
 - 「ふくいのりのりマップ」の発行と「バス電車ねっと」の管理
 - バス停調査・乗り継ぎ調査の実施
 - 各種提案の作成
 - (3) LRT推進事業
 - 公共交通について考えてもらうイベントの開催(セミナー・パネル展)
 - (4) 交流・連携事業
 - 「路面電車サミット」「バスマップサミット」の開催・参画
 - 全国・北陸など広域的な各種の交通まちづくり大会・イベントへの参加
 - 「アースディ」「水害復旧ボランティア」「NPOフォーラム」など地域活動への参加



望月真一氏

建築家、プランナー、アーバンデザイナー

アトリエ UDI 都市設計研究所代表

ヨーロッパカーフリーデー日本担当ナショナルコーディネーター

1949年東京生まれ(昭和24年6月24日)、1983年早稲田大学大学院(吉阪隆正研究室)都市計画修士課程修了、博士課程中退、フランス政府給費留学生(エコール・デ・ボザール、パリ第8大学)。現在、アトリエ UDI 都市設計研究所代表、カーフリーデージャパン代表、ヨーロッパカーフリーデー日本担当ナショナルコーディネーター(EUヨーロッパ委員会プロジェクト)。国際協力事業団(JICA)専門家、早稲田大学芸術学校・埼玉大学大学院、宇都宮大学、筑波大学、東京大学非常勤講師。新現代日本執筆者大事典(日外アソシエーツ刊・10年間のデータベースより現代日本の執筆者一万人選定)1992年巻・2003年巻に掲載

連絡先 〒102-0085 千代田区六番町 6-20-304 TEL 03-3234-1765 FAX 03-3234-1748
Mochizuki@atelierudi.com <http://www.atelierudi.com> <http://www.cfdjapan.org/>

主な業績 建設省シンボルロード整備事業基本調査、エコ交通に関する調査、自動車共同利用実験(カーシェアリング)公共交通を補完する自転車共同利用、新たな都市再生・中心市街地活性化の展開 フランス等の研究、施策立案。銚子駅前広場・駅前通りシンボルロード、岩手町石神の丘美術館彫刻公園・美術館、住都公団奈良地区公共施設マスターデザイナー、美瑛町駅前地区ふるさとの顔づくり区画整理事業、柏西口歩道橋・デッキ、朝来町あさご芸術の森美術館・公園・宿泊施設(2003年グッドデザイン賞、IFPRA 国際コンクール Nations In Bloom 2002 金賞)熊谷市星川通りシンボルロード(2000年グッドデザイン賞)等の建築、アーバンデザイン設計。ベトナム・ホーチミン市副都心 Thu Thiem 地区アーバンデザイン国際競技(3位入賞(1位なし)、ベトナム建設省都市計画研究所 NIURP と合同チーム) JICA-Net 遠隔講義ベトナム専門教育プログラム(発展途上の開発と軌轢)。国土庁中心市街地活性化、地域振興、国交省リゾート整備、経産省中心市街地商業等活性化等アドバイザー。区画整理実務辞典編集委員(全国土地区画整理連合会)

講演等 第5回国際リゾートフォーラム FIDEL(カンヌ、1990)パネリスト、「フランス山岳リゾートセミナー」プレゼンター(フランス大使館経済部主催セミナー1989)、第1~3回日米大都市圏会議(MPX)(92・94年東京・93年ニューヨーク)実行委員、日米大都市圏会議(MPX)東京シンポジウム(1996)実行委員、オープンスペースおよびパブリックアート(台北市政府主催、1997)日本政府派遣専門家・指導講師、LRT International Workshop '97 -東京・熊本-(運輸省交通安全公害研究所、1997)企画および実行委員、日越プランニングワークショップ第1・2回-ハノイ-(国際交流基金・(財)日本地域開発センター・ベトナム建設省 NIURP 共催、1998)事務局・講師、魅力ある中心市街地のデザイン(福島市24時間都市フォーラム 1998)基調講演、エチオピア大学建築学部特別短期講座(エチオピア大学・芝浦工大 1999-2001)講師。LRT International Workshop 2000 -ドイツ・フランス・スイス-(運輸省交通安全公害研究所、2000)企画および実行委員等、早稲田大学まちづくり国際シンポジウム 2000、「脱自動車都市 21世紀はどこまで自動車を減らせるか」(2000)実行委員、ヨーロッパトラム整備アーバンデザイナーシンポジウム TRAMINOS in Helsinki(招待参加)(TRAMINOS 実行委員会 2002)、歴史的環境保全と都市計画 フランスと日本の経験からベトナムを考える(HUE World Heritage District Conservation Workshop in Hanoi 2002, 2002)、Conflicts related to the Economic Developments and its remedy in the developing countries(Ho Chi Minh Transport University, 2005)。

著書等 「フランスのリゾートづくり-哲学と手法-」(鹿島出版会、1990)、ビデオ「フランススキーリゾート魅力づくりの構造」(フランス大使館経済部 FNI 制作 1994)、「アーバンデザインという仕事」(すまいの図書館、1996)、「新しい交通まちづくりの思想 コミュニティーからのアプローチ」(共著、鹿島出版会、1998)、「新たな都市再生・中心市街地活性化の展開 フランスの年の賑わいと魅力づくり」(街なか再生全国支援センター刊)、「路面電車が街をつくる-21世紀・フランスの都市づくり」(鹿島出版会、2001)、「クルマ社会のリ・デザイン」(共著、鹿島出版会、2004)、「Rumeurs de Villes」(共著、フランス国立研究所 CERTU・設立10周年記念出版)



テーマ： 人が中心の街づくり

国内各地の事例をもとに、まちづくりの道具としての路面電車の活用法や、それに向けた進め方を、パネルディスカッション形式で模索します。

パネリスト

谷口博司氏

富山市都市整備部路面電車化推進室長代理

公共交通とまちづくりの実務担当者。自動車依存度が高く郊外化が進む富山市では、高齢化など今後を見据え新たな都市ビジョンにコンパクトシティを掲げ、JR富山港線を第3セクター化し国内初のLRT新設線として富山ライトレールが来年4月より運行をはじめます。

大辻太一郎氏

豊橋駅前大通商店街振興組合副理事長

商店街に新電停「駅前大通」の設置運動を永年にわたり展開し、市民・行政・交通事業者の協力で本年3月に完成。電停工事中には子どもを交通事故から守るための交通整理などにも取組まれました。また11月には商工会議所・市民団体からも参加する「豊橋市路面電車活性化推進協議会」がLRV導入・電停バリアフリー化などを盛り込んだ「活性化事業計画」を国交省に提出しました。

吉田千秋氏

万葉線株式会社総務課次長

赤字私鉄を国内で初めて第3セクター化して再スタートした万葉線は、超低床LRV（アイトラム）の導入、路盤や電停の整備など積極的なサービス改善をおこない、3年連続で利用者を伸ばしています。雪国での超低床LRVの運行で全国的に注目されましたが、来期にもアイトラムが2編成増備されることになっています。

内田桂嗣氏

特定非営利活動法人ふくい路面電車とまちづくりの会会長

「つないで生きる公共交通」「ほ（歩行）じ（自転車）ろ（路面電車）ば（バス）優先のまちづくり」を合言葉に、えちぜん鉄道や福井鉄道の活性化などの提案活動にとどまらず、利用者の視点から市民みずからがつくったバスマップ（のりのりマップ）の発刊など、さまざまな活動を展開しています。

コメンテーター

望月真一氏

アトリエUDI都市設計研究所代表

（記念講演・講師紹介をご参照ください）

コーディネーター

川上洋司氏

福井大学工学部教授（地域・都市計画、交通計画）

公職として、福井市都市計画審議会会長、新世紀ふくい生活交通ビジョン策定協議会会長（2001-02）富山市交通マスタープラン策定協議会会長（2003-04）等を務める一方、「福井公共交通の歴史」（共編著、IRE叢書3）をはじめ都市・交通計画に関する著書・論文を数多く出されています。